Course number	U-LAS02 10007 LJ36				
Course title (and course title in English)	国語国文学Ⅰ Japanese Philology and Literature I		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer,MOTOI MAKIKO	
Group	Humanities and Social Sciences	Field(Classification)	Arts, Literature and Linguistics(Foundations)		
Language of instruction	Japanese	Old group	Group A	Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester
Days and periods	Tue.2	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

【仏教文学への招待I】

古典文学の世界には仏教的な要素が色濃くあらわれている。この授業では、古典文学作品理解の一助として、仏教の基本的な価値観・世界観を学ぶ。その上で、それらに裏打ちされた文学作品が、どのような意図のもとに書かれ、どのように読まれていたのかを具体的にみてゆくこととする。

[Course objectives]

古典文学の思想的背景としての仏教についての基礎知識を学んだ上で、古典文学作品を理解し味わうことができるようになることを目標とする。

[Course schedule and contents)]

初回に授業全体のガイダンスを行った後、２回目以降は下記のテーマに沿って授業を展開する（各テーマにつき１～３回）。仏教のよりどころとなる経典と、そこに描かれる世界観とをふたつの柱として、基本的事項を概説した上で、関連する古典文学作品を取りあげ味読する。『日本霊異記』『今昔物語集』などの説話文学をはじめとして、物語、芸能などをもとりあげる予定である。なお、授業内容や順序は、受講生の理解・関心等に応じて変わることがある。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

○経典
（１）仏教とことば・文学
（２）仏典の漢訳とことば
（３）三国意識―天竺・震旦・本朝―

○世界観
（１）六道
（２）冥界
（３）浄土

[Course requirements]

None

Continue to 国語国文学Ⅰ(2)↓↓↓

国語国文学Ⅰ(2)

[Evaluation methods and policy]

試験（筆記）により評価する。ただし、３分の２以上の出席を試験受験の要件とする。

[Textbooks]

Not used
プリントを配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）
Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

講義でとりあげた作品のなかから興味をもったものを積極的に読んでほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]